

ひと まち 輝く
キラリ★
kirari

箕面市立みのお市民活動センター

(指定管理者:(特活)市民活動フォーラムみのお)

〒562-0013 箕面市坊島4-5-20

みのおキューズモールWEST1-2F

TEL. 072-720-3386 FAX. 072-720-3387

<http://www.shimink.jp/>

Vol. 15

令和6年(2024年)12月発行

トピック

アートが生み出すつながりと交流の力

日本とベトナムを料理でつなげたい

みのおえんにち

～ステキなご縁と出逢える、
みんなありがとうまつり～

井上恭子さん

アートが生み出す つながりと交流の力

アートには人々のつながりや交流を促進する効果があり、近年では「アート×まちづくり」といった活動も活発化しています。今回は、箕面在住アーティストで、まちなかの建物やパブリックスペース(公共的空間)を活用してアートプロジェクトを企画・運営されている井上恭子さんにお話をお聞きしました。



アートとの出会い

子どもの頃から絵を描くのが大好きだったという井上さん。また、建設関係だったお父様の仕事現場によくついて行った経験から、解体や工事の現場をみるとワクワクするようにもなっていたそうです。成長してからは好きなことを追求するため芸大へ進み、卒業後はアートギャラリーを運営していました。大好きなアートに関わり仕事としても楽しかったのですが、興味のある人だけが訪れるギャラリーという“箱の中”から、次第に“もっと外の世界へ”という欲求がわいてきました。また、自身がパニック障害を発した経験から、悩みや生きづらさを抱えている人たちの心を少しでもやわらげることができないかと考え、「パブリックでやってみよう。アートで人と人や、人とまちをつなぎたい」と思うようになります。

アートの力でつながる

初めてのプロジェクトは「取り壊しを待つばかりの建物に再び命を吹き込む」というものでした。解体予定の文化住宅では、元住民や関係者たちが集まり、壁や部屋の中や階段などあらゆるところに色とりどりの絵を描きました。みな最初は戸惑いつつも、一度描き始めると筆が止まらなくなるほど楽しみ、想いを馳せたそうです。また、5つの学校の統廃合でのプロジェクトでは、卒業生や在学中の子どもたち、保護者や先生たちなど、多くの人たちが抱える複雑な想いが、アートを通じた交流でポジティブな感情に変わり、一体感やつながり合いが生まれる効果があったそうです。

「かつては人々の交流と賑わいがあった場所が、ひとつの役目を終えて生まれ変わるんです。ネガティブな気持ちでただ取り壊されるのを待つんじゃなくて、これまでへの敬意と未来へ期待する気持ちになれるように、そこにある人々の想いもポジティブな形でつなげていけたらと思うんです」と井上さん。

つながりや交流を促進

井上さんはアートプロジェクトの他に、みのお山麓倶楽部という団体も立ち上げ、ハンドメイドや音楽、芸術などに関心のある人たちが自分たちの才能を形にして発信する場とコミュニティを広げています。「36 マルシェ」「オトナート(大人とアートを掛け合わせた造語)」などを独自に企画開催したり、みのお市民活動センターと共催で「かやのCOCOストリート」という社会実験を絡めたまちづくりの活動も行ったりし、多様なアプローチで人々のつながりや交流を促進しています。

「衣・食・住があれば人は生きていけますが、人間らしさは文化的活動の中にあります。アートは内なるものを自由に表現していいし、見る側も自由にとらえていい。比較や競争、争いもない世界なんです。アートには人の心を開き、共感を呼び起こすメッセージ力があります。私がパブリックスペースでやりたいと思うのは、まちの人々が行き交い自然と交流が生まれる可能性のある場所だからです。アートを特定の“箱の中”だけじゃなくて、もっと身近にもっと多くの人たちが自由に感じられる場所で発信したい。アートで人と人の心をつないでいきたい」と井上さんは言います。アートがもつ非言語的な力は、いろいろな価値観や想いをつなげ、人々の交流の促進や、地域社会でのつながりを深める重要な役割を果たしているのだと、改めて深く感じました。



井上恭子さん Information

井上恭子
株式会社ソラノミ代表取締役
みのお山麓倶楽部 代表

1975年 京都府生まれ。芸術系の大学卒業後、様々な職種を経て起業。イベントの企画運営、オリジナルアロマブランドの企画販売、紙媒体のデザイン制作などの事業を展開。

お問い合わせ info@soranomi.com



日本とベトナムを料理でつなげたい

数年前から市民活動センターに事業の相談に来られるようになったシチ・ゴック・トゥエットさん。ご自身も当事者であることから、変化する外国人市民のニーズを把握し、いつもプランを構想して動かれています。そんなバイタリティあふれるシチさんにお話をお聞きました。



日本に来たきっかけ

私はベトナム生まれですが、祖父が日本人だったこともあって、もともと日本には馴染みがありました。2007年大学4年生の時に交換留学生として大阪大学に入学し、その頃に会った夫と結婚して箕面に住んでいます。

コロナ禍に始めた支援活動

結婚してしばらくは、豊中や箕面の国際交流協会外国人相談員として働きながら、多文化交流センターのカフェで月1回ベトナム料理を作っていました。2018年からは海外からの技能実習生をサポートする会社で働き始めました。その後新型コロナウイルスが蔓延して、帰国できない人を会社の寮に住まわせたりしていましたが、仕事がないから収入もなく、食べ物もない、生活に困っているのを見て何とかしたいと思っていました。そこで同僚と一緒に「Ngon Ngon Viet Nam」という団体を立ち上げて、お弁当配布の活動を始めました。

ご縁から広がる支援の輪

その頃、近所の畑で見かけたバナナの木が気になって農家のおじいさんに話しかけたら、バナナの苗をくださってそこから仲良くなりました。実習生にあげるために野菜のB品を買い取らせてほしいと相談すると、困っている人を助けたいからと無料で提供してくれることになりました。



さらにそのおじいさんのお友だちはお米を提供してくれ、相談員をしていた頃のご縁でボランティアや食品店の協力者ともつながり、箕面や大阪市内で実習生が集まる場所や日本語教室でお弁当を配布することができました。お弁当はベトナムの春巻きや炊き込みご飯で、ベトナム出身者は母国の味と喜んでくれました。

料理を通じて孤独の解消

コロナ禍が落ち着いてから、お弁当だけでなく、一緒に料理を作って語り合う「NHA VIET 語り合いカフェ」という活動をボランティア仲間と始めました。ベトナム人の友人が日本語ができなくていつも家にこもっていて、同じように孤独を感じている人は日本人でもたくさんいるのではないかと思ったからです。料理の共同作業は、「これ洗って」とか、簡単な言葉や単語で自然に会話が生まれます。年間8回でいつも20人～30人ほど集まっています。ベトナムでお正月に食べるちまきを作った時は、ベトナム人の参加者は「懐かしい」と喜んで、日本人も一緒にわいわい食べていました。次回はみなでおじいさんの畑で野菜を収穫して料理する予定です。

シチ・ゴック・トゥエット(堀さや)さん Information

NHA VIET 語り合いカフェ代表。
ベトナム本場の料理を再現して紹介するのが好きです。

NHA VIET 語り合いカフェFacebook



「みのおえんにち ～ステキなご縁と出逢える、みんなありがとうまつり～」に参加してきました。

9月22日(日) 中小コミュニティセンター四季彩の家で

「(特活)箕面市障害者の生活と労働推進協議会」(以下、推進協)主催のイベント「みのおえんにち」に参加してきました。

地域の福祉関係団体が協働してつくるおまつりで、障害のある方や福祉団体への、地域社会での理解を深め、誰もが参加しやすい共生社会づくりをめざしているそうです。会場では、地域の団体によるステージ、バザー、飲食販売、手作り雑貨販売、スーパーボールすくい、被災地の障害者支援報告パネルの展示など、子どもからお年寄りまで楽しめる企画がところ狭しと並んでいました。

地域にこんな団体やお店があるのかといった発見があったり、まちで時々すれ違う人々と初めて言葉を交わしたり、お久しぶりの再会もありました。

近隣の大学や高校からもボランティアの参加があり、会場案内やステージ上で体操のお手本役、視覚障害者の手引き体験もしたそうです。



推進協の職員のかたによると「コロナ禍以来、特に障害者はたくさんの人と接する機会が減っていたので、今回開催できて嬉しかったです。参加団体の売り上げにもなって、学生ボランティアも楽しんでくれて、みんなwin-winになったと思います」とのことでした。このイベントをきっかけに福祉業界で働いてみようかなという人も現れますように。

インフォメーション

みのお市民活動ポータルサイト

あなたの

M-link

やってみたいを
応援します！

KATUDOU



箕面市近隣の市民活動に関する講座やイベント情報、みのお市民活動センターの施設案内等、ボランティアしたい、参加したい、相談したい、活動の想いを知りたい、そんなあなたに市民活動の情報をお届けします。

WEBアクセスは
▼こちらから▼



クイズコーナー

今回掲載記事に関するクイズです。

ベトナム中部にあるホイアンの伝統的な名物料理「カオラウ」は、太い麺に野菜や豚肉、ハーブなどを乗せ、甘じょっぱいタレを混ぜて食べる和え麺です。この料理は、日本のある料理にルーツがあると言われています。その日本の料理とは何でしょうか？

- ①長崎ちゃんぽん
- ②喜多方ラーメン
- ③伊勢うどん
- ④出石そば



伊勢出身の貿易家である角屋七郎兵衛が17世紀にベトナムに渡り、そこで伝えたと言われています(諸説あり)

◎ <正解>

市民活動

フォーラム

みのお

みのお市民活動センターを
管理運営するNPO法人です。
様々な課題に取り組む
市民活動の応援をしています！

センターではこんなサービスを提供しています！

誰でも使える…印刷機、コピー機、貸会議室等

非営利公益市民活動団体が使える…年登録制：
事務ブース（貸事務所）、倉庫、ロッカー、メールボックス

団体のお困りごとに答えます！

活動支援「夢の実支援金」…団体の立上げ、事業の拡充を資金面で応援します。

団体の運営課題の解決…事務力、広報力などのスキルアップ講座を開催しています。

その他ホームページ、SNSでさまざまな情報発信をしています。

社会課題に取り組んでいる活動をアピールしています！

市民活動の紹介や被災地復興支援のイベント、市民社会講座やフォーラムを開催しています。

何かしたい！役立てたい！という思いに答えます！

ボランティア情報サイト v-info…ボランティア情報を発信しています。

みのお市民活動グループガイド…NPO・市民活動を紹介する冊子を発行し、情報提供しています。

当法人のネットワークで、いろいろな分野をつなげます！

市民活動と企業、店舗、学校などと連携することで、強みを活かした活動につながります。

